

留学報告書
～あつという間の4か月～

東義大学校
国際文化学部生（中期）

私は約4か月間韓国の釜山にある東義大学に留学をしました。4か月という短い期間は、あつという間でしたが、語学堂やクラブなど貴重な体験をすることができました。

はじめに語学堂について振り返りたいと思います。初めは不安でしたが、レベル分けテストにより、自分のレベルにあったクラスに振り分けられることがわかりました。クラスは大体初級クラス1から、TOPIKの目指す級2・3・4・5・6にレベル分けされます。私はこの中でも2のクラスでした。私は自分のレベルにあったクラスだと思い授業を受けていましたが、すべて韓国語での授業で受け始めた当初はほとんど先生が言っていることが理解できませんでした。また、海外で受ける授業は日本の高校や中学校の授業と違い、分からなかったり、先生の質問に答えられなかったりすると、ただ自分の番が飛ばされるだけで先生がその場で優しく教えてくれることはあまりありません。私は授業を受けていてとても悔しかったです。そのため、私は毎回授業でわからなかったことをすべてメモし、授業のない午後の時間を使い授業の復習をほぼ毎日行いました。留学した初期はほとんど先生の話している内容が理解できていなかったのですが、理解できないからとあきらめず努力した結果、授業内でも先生の話をもっと理解できるようになり、より授業が楽しくなりました。

また、私のクラスには、フランス人・中国人・台湾人の学生がいました。他国のクラスメートとも初めはアイコンタクトだけだったのが、韓国語でうまくコミュニケーションが取れるようになり、ご飯や遊びなど授業以外にも一緒に過ごす機会が増え、仲を深めることができました。授業最終日になり、語学堂の先生から私のレベルは正直1だったと言われました。私を含めレベル1の生徒が複数いたそうですが、現地にいた留学生の人数が多くなく、人数の関係上、私たちも2のクラスに分けられることになりました。先生には「ここまでできるようになるとは思わなかった。」と言われ、努力してよかったととても嬉しくなりました。諦めず努力できたことでクラスメートとも仲良くなったり、韓国だけでなくほかの国の文化を学んだりすることもできました。今回の嬉しさを忘れず、どんなに小さいことでもすぐに諦めないようにしていきたいと思います。

次に、クラブや授業外の生活について振り返りたいと思います。

まず、クラブは『日本語クラブ』にネイティブの学生として招待され参加しました。活動している生徒は日本に興味があったり、日本語をしゃべれるようになりたいと思ったりしている学生でした。しかし、日本語の能力にはばらつきがあり全く喋ることができない学生から普段の会話であればできる学生までいました。担当してくれていた先生も韓国人の先生ということもあり、説明など大体は韓国語で、発表などは日本語でした。クラブでは日本の音楽を使って、日本語と一緒に勉強しました。日本語にはあっても韓国語にはない単語も多くあり、説明が難しい場面もありましたが楽しかったです。語学堂の授業とは韓国語の話す内容も難しく、速度も速いので聞くのも一苦労でしたが、日本に興味を持ってきている学生の方たちによりたくさんのお話を聞きたい気持ちがあり、私たち日本人は自由参加でしたが、私は最後まで毎週参加しました。クラブのメンバーとも仲良くなることができ、クラブ以外でも遊ぶことができ、日本のことを伝えながらも私も韓国語の勉強ができ、良い機会になりました。

また、そのほかの生活では、留学前は不安なことも多かったのですが、日本人に一人ついてくれた韓国人の学生のチューターがサポートをしてくれてほとんど不自由なく生活することができました。チューターとはたくさん時間を過ごしてもらいました。私たちが知らない韓国料理や、観光にも連れて行ってもらい、とてもお世話になりました。チューターと日本人メンバーでとても仲良くなることができ、1月末に日本に遊びに来るという連絡も来て、

より日本に興味を持ってくれました。韓国でお世話になった分、私たちがたくさん恩返ししたいと思います。

また、私はこの留学の中で心掛けたことは、たくさんの人と会話をする事です。しかし、留学の初めから実行できたわけではありません。初めは話すのが恥ずかしいという気持ちがありました。そのため初めはクラスメートから話しかけることをしました。だんだん話すことにも慣れてきて、相手から話してくれることが多くなってきて会話が楽しくなりました。会話をするのが楽しくなってからは、街でも買い物に行ったとき対応してくれたお店の方にも服に関して質問したり、コスメショップでも自分に合ったものを聞いたりなど、積極的に会話をする機会を増やすことができました。これを心掛けたことでおいしくて通っていたドーナツのお店の定員さんとも仲良くなることができ、サービスもしてもらうことができました。特にうれしかったのは帰国直前の日に乗ったタクシーの運転手さんと話をしていた時に「韓国語上手だね」と言っただきタクシーの中で会話が盛り上がり運転手さんとも仲良くなれたことです。会話の内容は、サイズや色、おいしいです。や、日本人です。という少ない内容のこともありましたが、4か月という短い間でしたが今まで過ごしてきた中で一番人と話すことができた4か月だったと思います。

私は、ほかの国の言葉が喋れるようになりたいという気持ちはありますが、語学の勉強もあまり得意ではありませんでした。留学に行く前も参考書もたくさん買い勉強をしていましたが、なかなか頭に入っていませんでした。私の勉強法はただ文章をノートに書き写すなど、あまりいい勉強法ではありませんでした。声に出して勉強するといいいよと聞いても、恥ずかしいからという理由で声には出さずただ書くだけでした。しかし、今回の留学を通して声に出すことの大切さを身に染みてわかりました。また、話せた時の楽しさも知ることができ、もっといろんなことを話せるようになりたいとも思いました。

今回の貴重な体験を無駄にせずこれからも積極的に声を出して勉強を続けていきたいと思えます。



語学堂のクラスメート



留学生とチューターで
初めて韓国の野球観戦に行ったとき



学校の近くはアヒルのお肉（オリコギ）が有名で
チューターに連れて行ってもらった